

## 龍ヶ崎のお宝の木探訪マップ 6

### 【北文間地区】



③9 スダジイ

④0 ケヤキ

④1 クスノキ・オオムラサキ

④2 カキ

# スタジイ

【ブナ科シイ属】

デ  
ー  
タ

探訪マップ【北文間地区】③

樹高/ 5m 幹周り/ 440cm

推定樹齢/ 300年

場所/ 須藤堀町民家(須藤堀町)



## ■須藤堀のすだ椎(しい)■

スタジイは、民家の庭木として、よく手入れされた樹形で、大変趣がありますが、残念ながら台風により頭頂部が折れて失われています。

民家の入口に享保13年(1728年)建立の可愛らしい弁天様がありました。「大昔3姉妹の次女が突然亡くなり、命日には現在も縁者が集まってお祭りをしている」というほっこりとするお話を伺うことができました。

近くを通る土浦竜ヶ崎線・だんご塚通り(4号線)を千葉方向にしばらく進むと、北方交差点付近に直径約55m、高さ14mのだんご塚古墳があります。塚上の吾妻神社に祀られているのは日本武尊の後・弟橘姫命(おとたちばなひめのみこと)。塚には副葬品が埋められているという言い伝えがあります。



# ケヤキ

【ニレ科ケヤキ属】

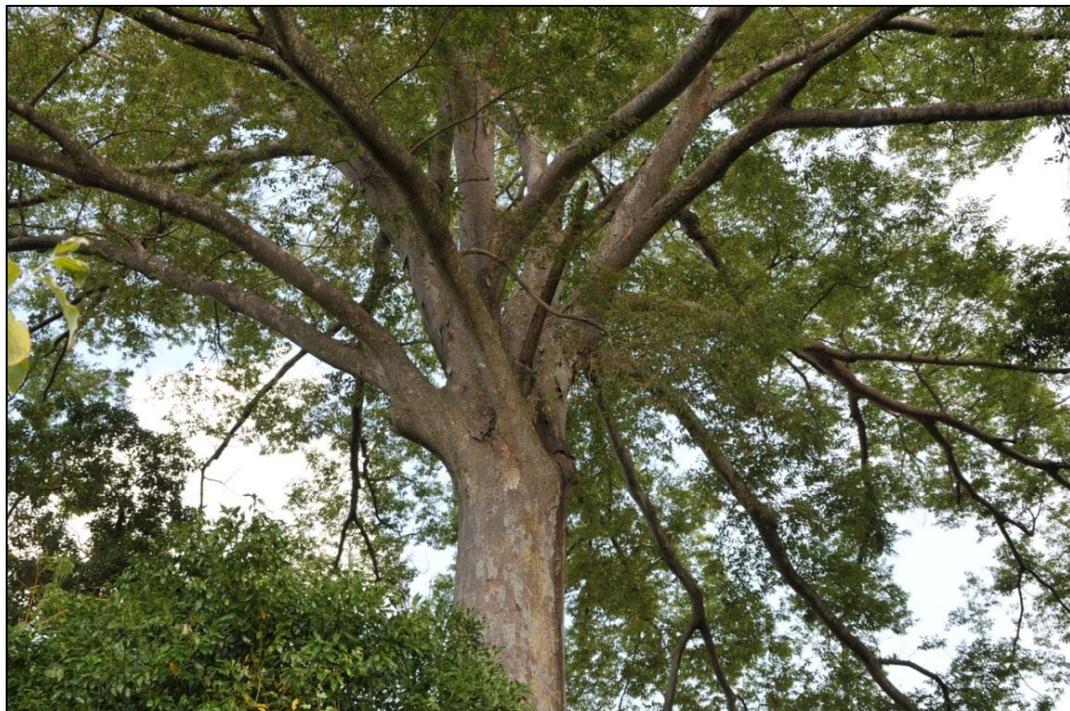
デ  
ー  
タ

探訪マップ【北文間地区】④

樹高/ 20m 幹周り/ 390cm

推定樹齢/ 100年

場所/ 長沖町民家(長沖町)



## ■長沖のノツボ樺（けやき）■

主要地方道千葉竜ヶ崎線・だんご塚通り（4号線）から北文間小学校方面を眺めると、広がる水田の先にケヤキの巨木を見ることができます。

北文間小学校付近のツバキの垣根に囲まれた邸宅内に樹高20mのケヤキが天に向かって大きく手を広げているようで、一見の価値があります。

この邸宅のツバキの垣根も開花時期はとも見事です。



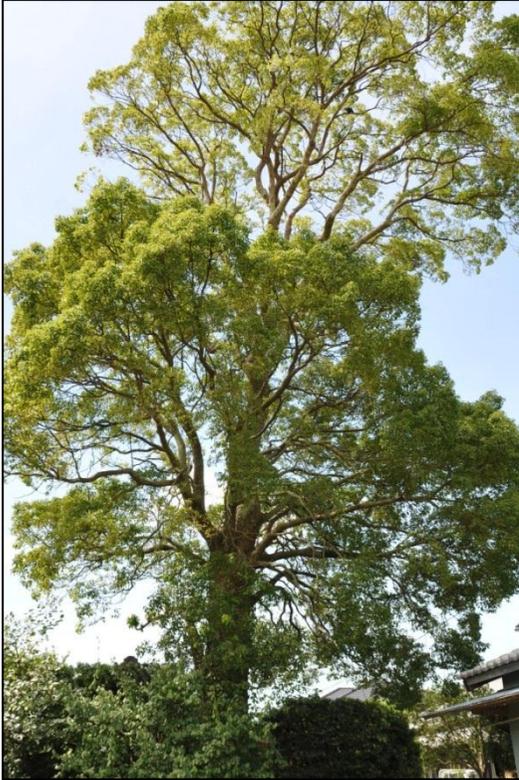
## クスノキ・オオムラサキ

【クスノキ科クスノキ属】【ツツジ科ツツジ属】

データ

### 探訪マップ【北文間地区】④

(クスノキ) 樹高/ 25m 幹周り/ 370cm  
 推定樹齢/ 150年  
 (オオムラサキ) 樹高/ 4m 株立ち 46本  
 推定樹齢/ 120年  
 場所/ 須藤掘町民家(須藤掘町)



【クスノキ】



【オオムラサキ】



【オオムラサキ】

### ■すっと伸びた須藤掘の大樟（おおくす）■

クスノキは樹齢も長く、日本で巨樹となる木の一つです。幹周り 24.2m の蒲生の大クス（鹿児島県蒲生町）は有名です。

このお宅のクスノキも樹高 25m と高く、付近には水田が広がっていますので、遠くからも見ることができます。

また、よく手入れされた庭には、すばらしい株立ちのオオムラサキが目を引きまします。オオムラサキは半常緑性で春葉、夏葉の二型があり、紅葉（黄葉）した葉は落葉しますが緑色の葉は冬を越します。

ゴールドエンウィーク頃の開花時は大変見応えがあります。



# カキ

【カキノキ科カキノキ属】

デ  
ー  
タ

探訪マップ【北文間地区】④

樹高/ 15m 幹周り/ 160cm

推定樹齢/ 150年

場所/ 高須町民家(高須町)



【水塚（水屋）】



## ■高須の古柿（ふるがき）■

カキは古くから日本固有の果樹として各家庭でも栽培され、晩秋から初冬にかけてたいへん風情があります。カキはカロチンを含み利尿効果があって二日酔いにも効くそうです。また、「木守柿」といって、赤い実を一つだけ木に残しておく風習があります。

龍ヶ崎から高須橋を渡って取手市（藤代町）に抜ける途中、高須集落の屋敷にしっかりと根を張り、150年以上の風雪に耐えている古柿の雄々しい姿が見られます。

高須町は、小貝川と旧小貝川（三日月湖）に囲まれた地域で、かつて何回もの洪水の被害にあい、その為屋敷内には盛土をされた場所に現在も水塚（水屋）が残されています。

※ 水塚とは洪水の際に避難する水防施設で、母屋より数十センチ以上高く盛土をし、その上に倉などの建物を建てたものです。